



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東  
 コード番号 2124 URL <https://corp.jac-recruitment.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松園 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	11,951	△0.7	3,298	△1.4	3,297	△1.8	2,201	251.1
2020年12月期第2四半期	12,039	△5.3	3,344	△0.6	3,356	△0.4	627	△73.9

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 2,262百万円(354.6%) 2020年12月期第2四半期 497百万円(△79.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年12月期第2四半期	54	38	54	37
2020年12月期第2四半期	15	29	15	29

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	16,112		11,637		72.2	
2020年12月期	18,623		14,326		76.4	

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 11,637百万円 2020年12月期 14,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年12月期	—	0.00	—	80.00	80.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	22,463	3.9	5,059	△1.5	5,083	△2.2	3,345	82.4	81	56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	41,389,300株	2020年12月期	41,292,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,024,635株	2020年12月期	280,185株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	40,496,106株	2020年12月期2Q	41,000,089株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2021年8月24日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済においては、首都圏、関西圏を中心に新型コロナウイルス感染症の再拡大を受けた緊急事態宣言が断続的に発出される一方、月例経済報告における「このところ持ち直しの動きがみられる」との景気判断は基本的に変わず、有効求人倍率も2020年10月以降は概ね上昇基調にあるなど、回復に向けた動きが持続されました。また、日銀短観の6月調査においても、大企業・製造業の業況判断指数はプラス14となり、3月の前回調査から9ポイント改善しております。

このような中で、当第2四半期連結累計期間における当社グループは、中核事業である国内人材紹介事業の好調がグループ全体の業績に反映し、売上高、利益ともに期初計画を上回る結果となりました。

国内人材紹介事業におきましては、特定業界を除き、多くの業界で求人意欲は期初から高い状況が継続しており、当第2四半期連結累計期間の成約の生産性につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった2019年度の同時期を上回る水準となりました。また、今年度は早期の業績回復を念頭に置いて、期初より「品質改善と採用強化」に力を入れて取り組んでまいりました。サービス品質の改善については、主に新型コロナウイルス感染症の渦中において希薄となっていた求職者面談の改革を全社プロジェクトとして推進したことが、顧客アンケートでの当社への満足度の向上につながり、業績向上にも寄与いたしました。また、求人企業にはアカウントマネージメントを徹底しました。その上で多様な人材ニーズに対応できる体制を整えました。このアカウントマネージメントの強化により、複数成約の実績も大幅に伸ばすことができました。一方、採用については上半期に十分な成果をあげられなかったことから、下半期に向けて、経営の最重要課題として採用の体制強化を予算投下も加速させつつ強力に遂行し、確実に目標を達成していく所存であります。

また、下半期においては、求職者募集の広告費につきましても、2022年度の業績向上も視野に入れ、必要とされる投資はこれをためらいなく実行してまいります。また、事業領域の拡大に向けては、市場価値の高い若手プロフェッショナル人材に特化した新サービスを「JAC Career」のブランド名で展開しております。

海外事業は、2020年9月に就任した統轄事業責任者の下でマネージメントを含む採用強化を進めた結果、複数の国々で生産性の回復が確認できる状況となりました。当第2四半期においては一部の地域で新型コロナウイルスの変異種による感染症拡大の影響を受けましたが、業績についてはほぼ期初の計画どおりに推移しております。

また、国内求人広告事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で低迷していた業界全体の求人掲載数もこの5月には前年同月比で増加に転じるなど、回復の兆しがみえるようになってまいりました。業績自体は依然厳しい状況にありますが、この4月に就任いたしました業界経験豊富な新社長の下、ノウハウの蓄積が進み一定の成果を出せるようになっております。今後も顧客のニーズを最大限に汲み取り事業に反映させることで売上の最大化を目指してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,951百万円(前年同期比0.7%減)となりました。セグメント別売上高は、国内人材紹介事業が10,740百万円(同1.0%減)、国内求人広告事業が111百万円(同16.1%減)、海外事業が1,100百万円(同3.9%増)となっております。

利益面では、営業利益は3,298百万円(前年同期比1.4%減)、経常利益は3,297百万円(同1.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,201百万円(同251.1%増)となりました。セグメント別損益は、国内人材紹介事業が3,351百万円(同4.8%減)、国内求人広告事業が△44百万円(前年同期は△19百万円)、海外事業が△19百万円(前年同期は△1,731百万円)となっております。

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
国内人材紹介事業	10,740	99.0
国内求人広告事業	111	83.9
海外事業	1,100	103.9
合 計	11,951	99.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
1. 国内人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	3,353	90.2
消費財・サービス業界	2,372	100.6
メディカル・医療業界	2,171	111.3
I T・通信業界	1,730	105.4
金融業界	1,040	94.1
その他	71	96.1
国内人材紹介事業 計	10,740	99.0
2. 国内求人広告事業		
国内求人広告事業 計	111	83.9
3. 海外事業		
海外事業 計	1,100	103.9
合 計	11,951	99.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金411百万円の増加、前払費用110百万円の増加等がありましたが、配当金の支払いや自己株式の取得等に伴う現金及び預金2,987百万円の減少等があり、前連結会計年度末に比べて2,511百万円減少の16,112百万円となりました。

負債につきましては、株式給付引当金268百万円の減少、未払金98百万円の減少等がありましたが、一方で未払費用477百万円の増加等があり、前連結会計年度末に比べて177百万円増加の4,474百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益2,201百万円を計上しましたが、一方で剰余金の配当3,303百万円や自己株式の増加1,541百万円等により、前連結会計年度末に比べ2,511百万円減少の16,112百万円となり、自己資本比率は72.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては2021年5月14日開示の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,584	10,597
売掛金	1,140	1,552
貯蔵品	1	1
前払費用	263	373
その他	99	90
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	15,079	12,604
固定資産		
有形固定資産		
建物	381	390
減価償却累計額	△220	△231
建物(純額)	160	158
機械及び装置	36	45
減価償却累計額	△22	△26
機械及び装置(純額)	13	18
車両運搬具	0	0
減価償却累計額	△0	△0
車両運搬具(純額)	—	—
工具、器具及び備品	424	439
減価償却累計額	△333	△351
工具、器具及び備品(純額)	91	88
リース資産	10	4
減価償却累計額	△6	△0
リース資産(純額)	3	3
建設仮勘定	9	—
その他	370	420
減価償却累計額	△237	△250
その他(純額)	133	170
有形固定資産合計	412	440
無形固定資産		
のれん	990	951
ソフトウェア	677	665
ソフトウェア仮勘定	74	49
無形固定資産合計	1,741	1,667
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	718	717
破産更生債権等	2	13
長期前払費用	2	2
繰延税金資産	669	679
長期未収入金	12	4
貸倒引当金	△15	△17
投資その他の資産合計	1,390	1,400
固定資産合計	3,544	3,507
資産合計	18,623	16,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
リース債務	0	0
未払金	379	280
未払費用	1,496	1,973
未払法人税等	1,158	1,207
未払消費税等	430	389
預り金	154	125
前受収益	39	51
賞与引当金	—	23
役員賞与引当金	—	49
株式給付引当金	268	—
解約調整引当金	55	55
その他	144	166
流動負債合計	4,129	4,325
固定負債		
リース債務	3	2
その他	164	146
固定負債合計	167	149
負債合計	4,297	4,474
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	619	672
資本剰余金	1,569	1,515
利益剰余金	12,403	11,302
自己株式	△288	△1,829
株主資本合計	14,304	11,660
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△83	△23
その他の包括利益累計額合計	△83	△23
新株予約権	105	—
純資産合計	14,326	11,637
負債純資産合計	18,623	16,112

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	12,039	11,951
売上原価	819	859
売上総利益	11,220	11,091
販売費及び一般管理費		
役員報酬	319	327
給料及び手当	4,189	4,561
法定福利費	593	612
退職給付費用	139	136
賞与引当金繰入額	198	23
役員賞与引当金繰入額	49	49
株式給付引当金繰入額	73	—
貸倒引当金繰入額	—	3
地代家賃	516	530
減価償却費	243	202
のれん償却額	126	55
広告宣伝費	446	307
その他	978	982
販売費及び一般管理費合計	7,875	7,793
営業利益	3,344	3,298
営業外収益		
受取利息	4	2
為替差益	4	1
その他	15	5
営業外収益合計	24	9
営業外費用		
支払利息	9	9
その他	3	1
営業外費用合計	12	10
経常利益	3,356	3,297
特別損失		
固定資産除却損	1	0
減損損失	1,580	8
事業所閉鎖損失	6	—
特別損失合計	1,589	9
税金等調整前四半期純利益	1,767	3,288
法人税、住民税及び事業税	1,103	1,096
法人税等調整額	37	△10
法人税等合計	1,140	1,086
四半期純利益	627	2,201
親会社株主に帰属する四半期純利益	627	2,201



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	627	2,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	—
為替換算調整勘定	△125	60
その他の包括利益合計	△129	60
四半期包括利益	497	2,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	497	2,262
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株を1,911百万円で取得しております。また、2021年5月14日開催の取締役会決議に基づき、株式付与E S O P信託口に対する第三者割当による自己株式576,300株の処分を行い、その他資本剰余金及び自己株式がそれぞれ107百万円減少しております。

さらに、新株予約権の権利行使による新株発行により、当第2四半期連結累計期間において資本金が52百万円及び資本準備金が52百万円増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が672百万円、資本準備金が647百万円、その他資本剰余金が868百万円、自己株式が1,829百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大に伴う会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,848	132	1,058	12,039	—	12,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	9	6	17	△17	—
計	10,850	141	1,064	12,057	△17	12,039
セグメント利益又は損失(△)	3,519	△19	△1,731	1,767	—	1,767

- (注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。  
 2. 国内人材紹介事業の報告セグメントにはのれん償却額37百万円が、国内求人広告事業の報告セグメントにはのれん償却額1百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額87百万円が、含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、海外事業の報告セグメントで249百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間に、海外事業の報告セグメントで1,331百万円の減損損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,740	111	1,100	11,951	—	11,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	8	2	24	△24	—
計	10,754	119	1,102	11,976	△24	11,951
セグメント利益又は損失(△)	3,351	△44	△19	3,288	—	3,288

- (注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。  
 2. 国内人材紹介事業の報告セグメントにはのれん償却額37百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額18百万円が、含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、国内求人広告事業の報告セグメントで8百万円の減損損失を計上していません。